

◇ 燃費に関する表示例

【表示事項】

- ①公式テスト値（JC08モード燃料消費率、国土交通省審査値）又は公的第三者によるテスト値である旨
- ②定められた試験条件下での数値であり、実際の燃費は使用環境や運転方法により異なる旨

掲載車の前提：スカーレットGグレード、CVTのみの設定、駆動は2WDと4WDの設定あり

<表示例A-1>

■新聞・チラシ広告の表示例（同一紙面に一車種・一グレードの燃費のみを掲載する例）

スカーレット G 2WD

JC08モード 燃料消費率 (国土交通省審査値) 22.6 km/L ※

※燃料消費率は定められた試験条件下での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

①公式テスト値である旨

②燃費に関する付記説明

■公式テスト値である旨及び燃費に関する付記説明は

- (1)燃費の表示の近接箇所に一体として視認できるよう表示すること
- (2)最低でも8ポイント以上の大きさで表示すること
- (3)強調表示（燃費）と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること（最低でも、強調表示した文字の5分の1（最低8ポイント）以上）
- (4)文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例A-2>

■新聞、チラシ広告の表示例（同一紙面に複数車種の燃費を掲載し、燃費の付記説明を一括表示する例）

○チラシ広告（B4サイズ以上の例）の場合

JC08モード 燃料消費率 (国土交通省審査値) 22.6 km/L ※

フェア開催！


< JC08モード 燃料消費率 > について
※燃料消費率は定められた試験条件下での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

■複数車種の燃費を表示し、燃費に関する付記説明を一括表示する場合は、

- (1)燃費の表示に※を付ける等、燃費表示との関連が明確になるよう表示すること
- (2)燃費に関する付記説明は、広告スペースが5段以上又はB5サイズ以上の場合は10ポイント以上、10段以上B4サイズ以上の場合は12ポイント以上の大きさで表示すること
- (3)強調表示（燃費）と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること（最低でも、強調表示した文字の5分の1（最低8ポイント）以上）
- (4)文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例 A-3>

- インターネットバナー広告（220ピクセル×75ピクセル以下のスペース）の表示例
（燃費の付記説明をリンク先で表示する例）

<p><インターネットバナー広告></p> <div data-bbox="212 394 710 669"><p>新型スカーレット G 2WD</p><p>JC08モード 燃料消費率 22.6 km/L ※ <small>(国土交通省審査値)</small></p><p>燃費について詳しくはここを クリック！</p></div>	<p><リンク先ホームページ></p> <div data-bbox="890 383 1386 741"><p>新型スカーレット G 2WD</p><p>JC08モード 燃料消費率 22.6 km/L ※ <small>(国土交通省審査値)</small></p><p>※燃料消費率は定められた試験条件での値です。 お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法 （急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率 は異なります。</p></div>
---	---

- 220ピクセル×75ピクセル以下の広告スペースで燃費に関する付記説明をリンク先で表示する場合は

- (1)リンク先に誘導する文言は燃費表示の近接箇所に一体として視認できるよう表示すること
- (2)誘導する文言及びリンク先の表示は最低でも8ポイント相当以上の大きさで表示すること
- (3)強調表示（燃費）と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること（最低でも、強調表示した文字の5分の1（最低8ポイント相当）以上）
- (4)文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例 A-4>

- 店頭ツール（横断幕等）における表示例

■横断幕の例

新型スカーレットは **JC08モード 22.6** km/L ※燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

<G 2WD の場合> 燃料消費率 **22.6** km/L ※
(国土交通省審査値)

- 公式テスト値である旨及び燃費に関する付記説明は

- (1)燃費の表示の近接箇所に一体として視認できるよう表示すること
- (2)最低でも8ポイント以上の大きさで表示すること
- (3)強調表示（燃費）と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること（最低でも、強調表示した文字の5分の1（最低8ポイント）以上）
- (4)文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例 A-5>


■カタログ（主要諸元欄は除く）の表示例（同一頁に一車種・グレードの燃費のみを掲載する例）

<燃費を掲載した頁（主要諸元欄は除く）>

新型●●は G 2WD

燃料消費率 **JC08モード** ※
(国土交通省審査値) **22.6 km/L**

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....

< **JC08モード** 燃料消費率 > について

※燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客さまの使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

POINT !

■公式テスト値である旨及び燃費に関する付記説明は

- (1) 燃費の表示の近接箇所に一体として視認できるように表示すること
- (2) 最低でも **8ポイント以上** の大きさで表示すること
- (3) 強調表示（燃費）と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること
 （最低でも、強調表示した文字の **5分の1（最低8ポイント）** 以上）
- (4) 文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例 A-6>

■カタログ（主要諸元欄は除く）の表示例

（同一頁に複数車種の燃費を掲載し、**燃費に関する付記説明を一括表示する例**）

<燃費を掲載した頁（主要諸元欄は除く）>

G 2WD **JC08モード** ※
(国土交通省審査値) **22.6 km/L**

G 4WD **JC08モード** ※
(国土交通省審査値) **20.4 km/L**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

< **JC08モード** 燃料消費率 > について

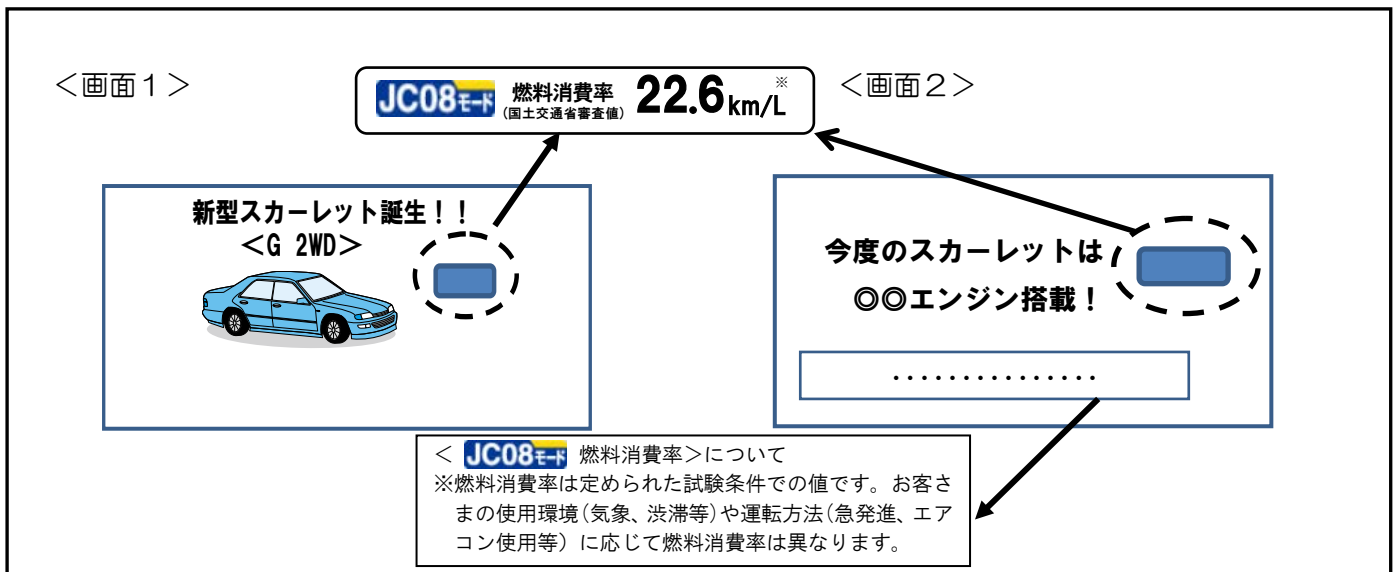
※燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客さまの使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

■複数車種の燃費を表示し、燃費に関する付記説明を一括表示する場合は、

- (1) 燃費の表示に※を付ける等、**燃費表示との関連が明確になるよう表示**すること
- (2) 燃費に関する付記説明は、スペースが **B5サイズ以上** の場合は **10ポイント以上**、**B4サイズ以上** の場合は **12ポイント以上** の大きさで表示すること
- (3) 強調表示（燃費）と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること
 （最低でも、強調表示した文字の **5分の1（最低8ポイント）** 以上）
- (4) 文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例 A-7>

■テレビCMの表示例（燃費に関する付記説明を別画面で表示する例）

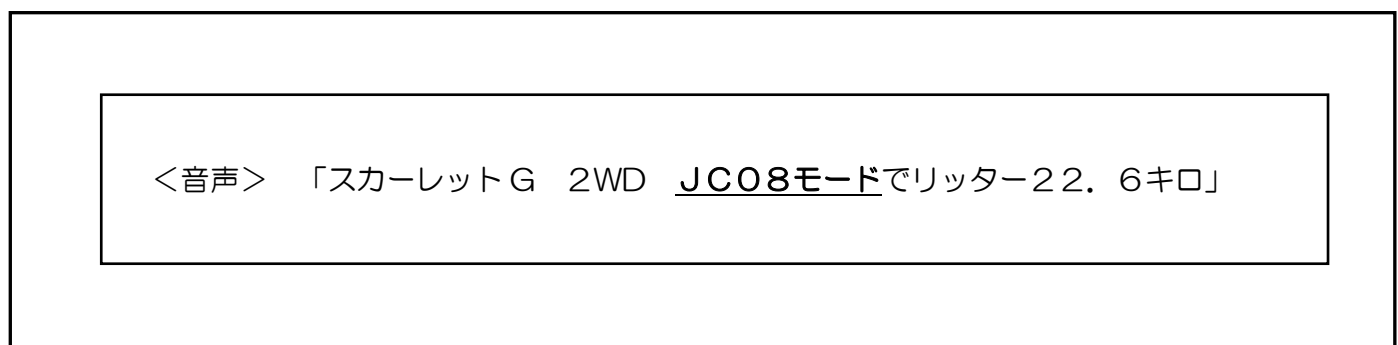


■燃費に関する付記説明を複数画面で表示する場合は、

- (1) 燃費の表示に※を付ける等、燃費表示との関連が明確になるよう表示すること
- (2) 1行あたり最大50文字以内で、15秒以内のCMの場合は最低1.5秒以上、16秒以上のCMの場合は2秒以上表示すること
- (3) 強調表示（燃費）と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること（最低でも、強調表示した文字の5分の1以上）
- (4) 文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例 A-8>

■ラジオCMの表示例（「JC08モードである旨」のみを表示する例）



- 時間の関係で公式テスト値である旨及び燃費に関する付記説明を全て表示できない場合は「JC08モード」である旨を表示することで代えることができる

◇ ASV 技術に関する表示例

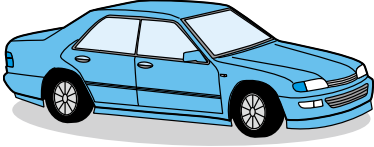
【表示事項】 ASV 技術の機能や内容、機能が作動する条件及び作動しない条件等
(ASV の機能内容、作動条件及び作動しない条件等)

<表示例 B-1>

■新聞・チラシ広告・インターネット等の表示例
(ASV 技術について表示する場合)

●●システム* (衝突被害軽減ブレーキ) 搭載!

.....



※●●●●ブレーキは、〇〇km/h 以下で前方の車両や障害物と衝突する可能性がある場合に作動し、自動的に停止又は減速することにより衝突回避・被害軽減を図ります。歩行者や小型の障害物には反応しません。路面状態や気象条件等によってはシステムが作動しない場合があります。システムだけに頼った運転はせず、安全運転を心がけて下さい。
詳細は、Web 又は店頭でご確認下さい。

■ASV 技術に関する説明等は


- ①ASV 技術に関する表示に**近接した箇所に一体として視認できるよう表示**すること
- ②最低でも**8ポイント以上**の大きさで表示すること
- ③強調して表示する場合は、その強調表示と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること (最低でも、強調表示の**5分の1 (最低8ポイント) 以上**)
- ④文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<表示例 B-2>

■新聞・チラシ広告・インターネット等の表示例
(ASV 技術の機能・効果を端的に表わす写真等を用いて表示する場合)

**安全運転をサポート！
自動ブレーキ搭載!**

.....



※●●●●ブレーキは、〇〇km/h 以下で前方の車両や障害物と衝突する可能性がある場合に作動し、自動的に停止又は減速することにより衝突回避・被害軽減を図ります。歩行者や小型の障害物には反応しません。路面状態や気象条件等によってはシステムが作動しない場合があります。システムだけに頼った運転はせず、安全運転を心がけて下さい。
詳細は、Web 又は店頭でご確認下さい。

■ASV 技術に関する説明等は

- ①強調表示に**近接した箇所に一体として視認できるよう表示**すること
 - ②最低でも**12ポイント以上**の大きさで表示すること
 - ③強調表示と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること (最低でも、強調表示の**3分の1 (最低12ポイント) 以上**)
 - ④文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること
- 「止まる」等の断定的な用語や「自動ブレーキ」、「自動でブレーキが作動」等の用語を使用する場合は安全運転や衝突被害の軽減を「支援(サポート)する機能である」旨を表示すること

<表示例 B-3>

- インターネットバナー広告（220ピクセル×75ピクセル以下のスペース）の表示例
（ASV 技術に関する説明をリンク先で表示する例）

<バナー広告>	<リンク先ホームページ>
<p>止まるをサポート！ 被害軽減ブレーキ搭載</p> <p>作動には条件があります。 詳しくはここをクリック！</p>	<p>※●●●●ブレーキは、〇〇km/h 以下で前方の車両や障害物と衝突する可能性がある場合に作動し、自動的に停止又は減速することにより衝突回避・被害軽減を図ります。歩行者や小型の障害物には反応しません。路面状態や気象条件等によってはシステムが作動しない場合があります。システムだけに頼った運転はせず、安全運転を心がけて下さい。 詳細は、Web 又は店頭でご確認下さい。</p>

- 220ピクセル×75ピクセル以下の広告スペースの場合で ASV 技術に関する説明をリンク先で表示する場合は

- ①リンク先に誘導する文言は強調表示に近接した箇所に一体として視認できるよう表示すること
 - ②最低でも12ポイント相当以上の大きさで表示すること（ASV の機能や効果を端的に表わす用語・映像を用いない場合は8ポイント相当以上）
 - ③強調表示と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること（最低でも、強調表示の3分の1（最低12ポイント）以上）（ASV の機能や効果を端的に表わす用語を・映像表現を用いない場合は5分の1（最低8ポイント）以上）
 - ④文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること
- 「止まる」等の断定的な用語や「自動ブレーキ」、「自動でブレーキが作動」等の用語を使用する場合は安全運転や衝突被害の軽減を「支援（サポート）する機能である」旨を表示すること

<表示例 B-4>

- 店頭ツール（横断幕等）の表示例

- 横断幕の例

止まるをサポート！ ●●は自動ブレーキ搭載※

※作動には一定の条件があります。詳しくはスタッフまで。

- スペース等の関係でASV 技術に関する説明等を表示できない場合は、「作動には条件があるため、詳しくはスタッフまで尋ねられたい旨」を

- ①強調表示に近接した箇所に一体として視認できるよう表示すること
 - ②最低でも12ポイント以上の大きさで表示すること
 - ③強調表示と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること（最低でも、強調表示の3分の1（最低12ポイント）以上）
 - ④文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること
- 「止まる」等の断定的な用語や「自動ブレーキ」、「自動でブレーキが作動」等の用語を使用する場合は安全運転や衝突被害の軽減を「支援（サポート）する機能である」旨を表示すること「自動ブレーキ」等 ASV 技術の機能や効果を端的に表すための用語を使用する場合は安全運転や衝突被害の軽減等を「支援（サポート）する機能である」旨を表示する


<表示例 B-5>

■カタログの表示例

(ASV 技術の機能・効果を端的に表わす写真等を用いて表示する場合)

<ASV の機能等について説明した頁>

**新型●●は止まるをサポート！
被害軽減ブレーキ搭載！**



.....

.....

.....

.....

.....

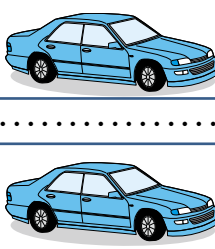
7

8

※●●●●ブレーキは、○○km/h 以下で前方の車両や障害物と衝突する可能性がある場合に作動し、自動的に停止又は減速することにより衝突回避・被害軽減を図ります。歩行者や小型の障害物には反応しません。路面状態や気象条件等によってはシステムが作動しない場合があります。システムだけに頼った運転はせず、安全運転を心がけて下さい。詳細は、Web 又は店頭でご確認下さい。

<同カタログ内での別頁 (ASV の機能等についての記載はない頁) >

●●ラインナップ



.....

.....

.....

15

16

被害軽減ブレーキを標準装備!!
※詳細は P7 をご確認ください

POINT !

■ASV 技術に関する説明は

①強調表示に**近接した箇所に一体として視認できるよう表示**すること

ただし、カタログ中の ASV 機能を記載した頁以外で ASV 機能や効果を端的に表わす用語等を使用する場合は、**近接した箇所に「詳細に説明した頁を確認されたい旨」を表示**すること (「詳しくは P●を確認されたい旨」等で代えることができる)

②最低でも**12ポイント以上**の大きさで表示すること

③強調表示と同一、または著しく異なる程度の大きさで表示すること (最低でも、ASV に関する表示の**3分の1 (最低12ポイント) 以上**)

④文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

■「止まる」等の断定的な用語や「自動ブレーキ」、「自動でブレーキが作動」等の用語を使用する場合は安全運転や衝突被害の軽減を「支援 (サポート) する機能である」旨を表示すること

<表示例 B-6>

■テレビ CM における表示例

(ASV 技術の機能・効果を端的に表わす映像表現を用いて強調表示する場合)

止まるをサポート！
●●は自動ブレーキ標準装備！※

▲ 作動には一定の条件があります

※可能な限り「作動には一定の条件がある」旨をナレーションでも表示

■ASV 技術に関する説明を映像に合わせて、

- ①強調表示に※を付ける等、**関連が明確になるよう表示すること**
「作動には一定の条件がある」旨を表示すること。
- ②画面の4分の1以上の面積を使用(複数のASV技術の告知をする場合で一括表示する場合は画面全体を使用)し、**1行あたり最大15文字、最低2秒以上表示すること**
文字に併せて、音声で注意を促す対応でも可
- ③強調表示と同一、または著しく異ならない程度の大きさで表示すること(最低でも、強調表示の**3分の1以上**)
- ④文字間及び行間の余白を空けるとともに、背景の色とは対照的な色の組み合わせにすること等により、視認性を確保すること

<テレビCMにおける注意点>

- ASV 技術の機能や効果を端的に表すための「止まる」等の断定的な用語は、「ブレーキが作動して自動で停止する」等の映像に合わせて表示してはならない。
- 「止まる」等の断定的な用語や「自動ブレーキ」、「自動でブレーキが作動」等の用語を使用する場合は安全運転や衝突被害の軽減を「支援(サポート)する機能である」旨を表示すること
- いかなる場合もASV機能が自動で作動するかのような映像表現は用いない

<表示例 B-7>

■ラジオCMにおける表示例

<音声> 新型●●は自動ブレーキ標準装備で、衝突回避をサポート。
作動には一定の条件がありますので詳細はホームページをご覧ください。

■時間の関係で、ASV技術に関する説明表示を全て表示できない場合は、「作動には一定の条件がある」旨を表示することで代えることができる

■「止まる」等の断定的な用語や「自動ブレーキ」、「自動でブレーキが作動」等の用語を使用する場合は安全運転や衝突被害の軽減等を「支援（サポート）する機能である」旨を表示すること